



～保護者と指導者で考える スポーツハラスメント防止講演会～

熱心な指導の一方で「怒鳴ること」や「厳しく叱ること」が行われてきた現状があります。
 沖縄県が保護者を対象に行った調査では、「競技力が向上するなら怒鳴る指導も許容できる」と答えた人が
 3割を超え全国平均の3倍以上にのぼりました。
 この講演では、スポーツハラスメントの防止及び予防啓発について関係者の理解を深め、
 沖縄をスポハラゼロにするために今できることを考えます。

参加
無料

要予約

2025年 **11/21** **金** 18:30～20:30 (受付 18:00～)

会場: 沖縄産業支援センター 中ホール(312) **定員: 100名**

オンラインとのハイブリッド開催(ZOOM)

申込締切: **11/19(水)**

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
 オンライン形式でお申込みされた方には申込み時に記載頂いたメールへ参加URLをお送り致します。

1 基調講演

スポーツハラスメントとは？

講師

一般社団法人 スポーツハラスメントZERO協会
代表理事

谷口 真由美

プロフィール

法学者、博士(国際公共政策)、専門は国際人権法、ジェンダー法など。
 (一社)ビジネスと人権研究所代表理事、(一社)アスリート・ウェルビーイングアソシエーション代表理事などを務める。神戸学院大学、佐賀女子短期大学などで客員教授を務める。大学教員を経て、2022年開幕のラグビーリーグワンの立ち上げに携わる。人権、政治はじめ様々な社会問題に、大阪のおばちゃん目線で鋭くツツコミ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説すると定評あり。

【マスコミ出演】TBS系サンデーモーニングなど
 【著書など】『きみの人生はきみのもの-子どもが知っておきたい「権利」の話-』(共著、NHK出版、2023年)など多数。
 ・琉球新報日曜一面「琉球の風」に連載(2017.6-2020.3)



2 パネルディスカッション

沖縄をスポハラゼロにするには？

パネリスト

一般社団法人 スポーツハラスメントZERO協会 代表理事

谷口 真由美

一般社団法人 ここから未来 代表理事

大貫 隆志

スポーツキャスター / ディレクター

下地 麗子



大貫隆志 プロフィール

2000年9月、学校でキャンディを食べたことをとがめられ長時間の生徒指導などを受けた翌日、次男が自殺。生徒指導による子どもの自殺を「指導死」と名付け、問題提起を行う。2017年には一般社団法人「ここから未来」を立ち上げ、学校での指導死やいじめ、体罰などをなくすための調査・研究を続けながら、全国での講演活動やメディア対応、執筆活動を行っている。

モデレーター

一般社団法人
沖縄スポーツ関連産業協会
代表理事

青田 美奈



下地麗子 プロフィール

スポーツキャスターとして県内ニュース番組に出演中。2021年のコザ高松手部長のスポハラによる自死問題の取材を続け、制作した番組「我が子を亡くすということ」(RBC)では日本民間放送連盟賞番組部門(ラジオ報道番組)で優秀賞受賞。「全力部活」や「スポーツのミライ」といったニュース特集を制作し、社会におけるスポーツの価値を多角的な視点で取材し発信を続ける。



お申し込み ご来場の方もオンラインでの参加の方も、いずれも予約が必要です。

【オンライン形式で参加の方へ】

- ・ご参加には予約が必要です。参加フォームよりオンライン形式を選択頂きお申込みください。
 - ・記載頂きましたメールアドレスに11月20日(木)に参加URLをお送りいたします。
 - ・視聴に必要な環境(PC・スマートフォン・ネット環境など)をご準備ください。
 - ・万が一、機材トラブルが起きた場合には配信URLの再発行も予想されます。
- その際にはご案内用のメールを改めてお送り致しますので、適宜ご確認できるようお願い申し上げます。

お申し込みは
こちらから

